

平成28年度 中日書道会功労者表彰

本部顧問 横山夕葉先生
本部顧問 丹羽常見先生

西三河

表彰を受けて

本部顧問 丹羽常見

行 人 会 部
法 道 支 部
社 日 本 書 道 会
益 部 三 河 支 部
發 中 西
〒446-0043
安城市城南町1-17-14
山 口 律 舟
編 集
西三河支部広報部

六月十二日(日)の総会において、長年本部理事としてご尽力されました横山夕葉先生と、前支部長丹羽常見先生が表彰を受けられました。支部のため、中日書道会のため懸命に務めていただいたことに、私たちも感謝しています。

今回は、両先生を代表して丹羽先生に寄稿していただきました。

人生の分かれ道はわからないものである。進むべき道を、自分で切り開いたり、人から勧められたりしても運命は違ってくる。

私が篆刻の道に足を踏み入れたのは後者で、ある人がきっかけを与えてくれて興味を持った

のである。独学で始めた篆刻は彫るのがほとんど楽しくなり、仕事を終え自分の時間を一時間〜二時間とるようにして、撰文、印稿、布字、刻印して約五十個を彫り終えた。

その後、般若心経二百七十六文字にも挑戦した。これは長男を小学二年の時亡くした供養のつもりで、無我夢中で刻した。

この結果、一年間で三百数十本の印を彫り上げた。そんなきっかけではじめた篆刻にどっぷりはまり、現在にいたっている。

書道会のことにはまるきりわからず足を踏み込んで、苦労はあったが幸いにも師匠のご指導、仲間にも恵まれ色々勉強できた。中でも中日書道会が一番長くお世話になったことになる。

この私が中日書道会の役員をや

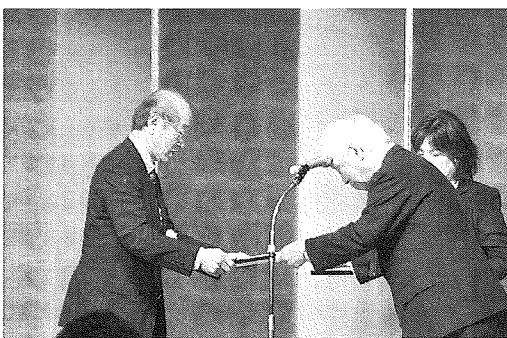
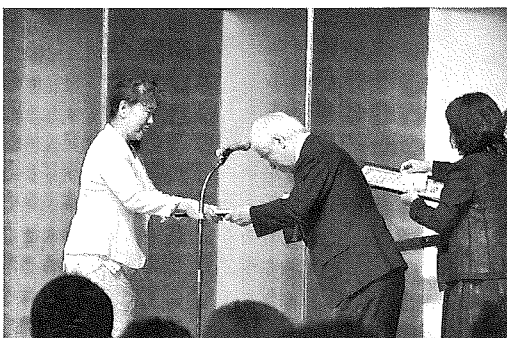
るとは思ってもいなかったし、ましてや西三河支部の支部長をやることになるとは、これまた大間違いと思つたのである。当支部では篆刻で初めての支部長ということになる。幸い諸先輩の先生方、また支部役員の方々に助けられ、務めを終えることができ感謝感謝である。この度、本部より表彰を受け光栄に感じている。これは支部の皆さんの代表でいただいたと思つている。

また、篆刻を永年やっていたおかげで道が開け、五年前「白圭社」と名付け社中を立ち上げた。これまでに五回の社中展を実施し、このうち二回を中国で行つた。一回目は浙江省杭州市で、二回目は山東省枣庄市で開催し、日中の友好を深めることが出来た。この活動により中国の友人が沢山でき、

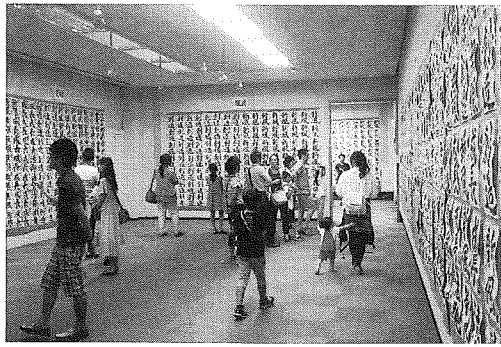
今でも友好を深めている。振り返ると私の周りには良き指導者、良き理解者、道を間違つたとき修正してくれる者、この人達がいてくれたおかげで人とのつながりができ、和ができ現在に至っている。

最後に、皆さんには時間を大切にして人生を進んでほしいと思つている。つまり一日は二十四時間。このうち仕事で行き帰りの通勤時間を含め十一時間使い、寝る時間を八時間、残り五時間の内、家族と過ごす時間を四時間とすると、後一時間残る。この一時間を趣味など自分の時間として、大事に使つてほしいものである。一生で自分の時間はそれほど長くはないのだから……。

この度は、誠にありがとうございました。



樽本樹郎名誉会長代行より授与される
横山先生(上)・丹羽先生(下)



▲ 会場風景



▲ 作業風景

第49回 支部学生書道展

平成28年7月8日↓10日

岡崎市美術館

出品点数 六、〇五二点

入場者数 一、九四八人



愛知県教育委員会賞

西尾西尾小6年 深津昂生



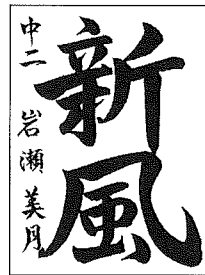
愛知県教育委員会賞

碧南南中1年 荒川紗彩



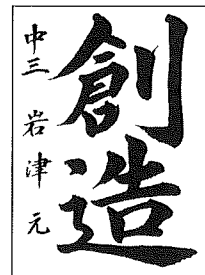
愛知県教育委員会賞

岡崎北高1年 水口奈々



愛知県議会賞

蒲郡形原中2年 岩瀬美月



愛知県知事賞

西尾鶴城中3年 岩津元



西尾市長賞

岡崎北中3年 荻野礼菜



刈谷市長賞

岡崎六ツ美北中3年 清水美帆



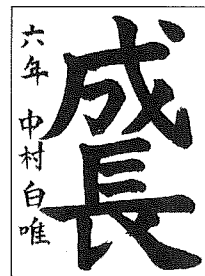
安城市長賞

岡崎北中3年 岡あかね



豊田市長賞

豊田堤小5年 石川諒一



岡崎市長賞

刈谷小高原小6年 中村白唯



幸田町長賞

岡崎竜南中1年 吉田透吾



みよし市長賞

碧南中央中1年 縦山彩音



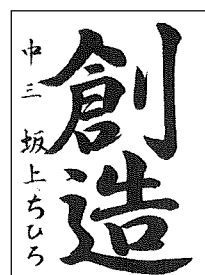
高浜市長賞

岡崎竜南中2年 吉田多映



知立市長賞

岡崎翔南中2年 鍋田萌子



碧南市長賞

岡崎福岡中3年 坂上ちひろ

受賞者の声

愛知県知事賞

西尾市立鶴城中学校

三年 岩津 元

今回知事賞を頂くことができ、とても嬉しく思います。

最初は、「創」のはねや「造」のはらいが難しく苦戦しましたが、先生の分かりやすいアドバイスをもらい、少しずつ上手に書けるようになりました。習字はなかなか思い通りに書くことが出来ませんが、書けた時の喜びはとても大きいです。これからも一筆一文字を大切に、頑張っていきます。

愛知県議会賞

蒲郡市立形原中学校

二年 岩瀬 美月

私は、受賞の知らせを聞いた時とても驚きました。保育園の年時から習字を習っていますが、今回の賞が今までで一番良い賞だったので、本当にうれしかったです。しかし、納得いく字が書けたわけではありません。新風は難しく、一方が上手く書けても、もう一方はうまく書けないという事が、何度もありました。これからは、納得できる字が書けるよう、努力していきたいと思います。

入賞 おめでとう

第33回 読売書法展

読売新聞社賞

漢字部 黒野芝香
漢字部 石川明加

特選 漢字部 加藤香雪
かな部 星野露草
漢字部 岡田恵鶴

秀逸 漢字部 奥田蘇水
かな部 加藤定子

漢字部 鈴木夏龍
かな部 鈴木美翠

漢字部 鈴木美翠
かな部 鈴木美翠

漢字部 鈴木美翠
かな部 鈴木美翠

漢字部 鈴木美翠
かな部 鈴木美翠

漢字部 鈴木美翠
かな部 鈴木美翠

漢字部 鈴木美翠
かな部 鈴木美翠

漢字部 鈴木美翠
かな部 鈴木美翠

漢字部 鈴木美翠
かな部 鈴木美翠

漢字部 鈴木美翠
かな部 鈴木美翠

漢字部 鈴木美翠
かな部 鈴木美翠

漢字部 鈴木美翠
かな部 鈴木美翠

漢字部 鈴木美翠
かな部 鈴木美翠

漢字部 鈴木美翠
かな部 鈴木美翠

漢字部 鈴木美翠
かな部 鈴木美翠

漢字部 鈴木美翠
かな部 鈴木美翠

漢字部 鈴木美翠
かな部 鈴木美翠

漢字部 鈴木美翠
かな部 鈴木美翠

漢字部 鈴木美翠
かな部 鈴木美翠

第66回 中日書道展

準大賞 かな部 木島静月

少字数部 加藤一次

永田美幸

野田はる美

篆刻・刻字部 杉浦鶴雲

中日賞 漢字部 倉知葉舟

少字数部 泉 好子

鈴木夏龍

野田啓華

古川梅華

かな部 榊原春子

近代詩文部 鈴木祥苑

少字数部 伊与田京子

篆刻刻字部 高島濤翠

第68回 毎日書道展

秀作賞 大字書部 泉 好子

佳作賞 漢字I類部 鈴木香葉

漢字II類部 山岸邦山

大字書部 竹内紫燕

改組新第3回 日展

漢字部 石川明加

今田昌宏

神谷采邑

高橋秀箭

中尾芝菜

鎌倉雅代

高島濤翠

平松圭鳳

調和体部

篆刻部

事務局 研修旅行

期日 十月三十一日(月)

場所 山梨

事務局次長 深津洋子

今年度は、久保田一竹美術館と

忍野八海への旅。三十九名の参加

で午前七時三十分東岡崎を出発

し、一路山梨へ。バスは第二東名

を快適に進み、うつすらと雪化粧

した富士山の姿に一同感嘆の声。

途中朝霧高原で昼食休憩し、その

後紅葉を眺めながら目的地に到着。

美術館は、雄大な富士山と河口

湖を望む絶景の地にあった。彫刻

を施した荘厳な門をくぐると「一

竹の世界」が広がった。本館には

「光響」の連作をはじめ、代表作

品がずらりと展示されていた。室

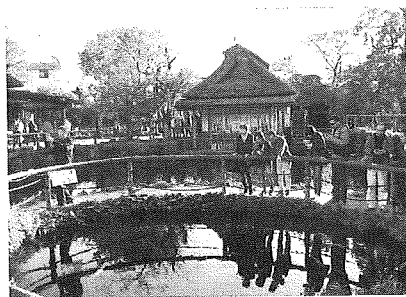
町時代に栄えた逢縮紋の紋様染

「辻が花染め」の美に魅了され、

一竹が四十年の歳月をかけて完成



集合写真 (久保田一竹美術館にて)



忍野八海にて

させた「辻が花」の作品は、ケースに入っていないため、色彩豊かな着物の染色や絞りの見事さを間近で鑑賞できた。

次の見学地の忍野八海は、富士山の伏流水に水源を発する湧水池で、富士講信者の巡礼地。今回は代表的な二つの池を見学した。涌池は、忍野八海一の湧水量と景観を誇り、透明度が高く、色鮮やかな緑のセキシヨウモがとても綺麗であった。もう一つの鏡池は、富士山の姿が鏡のように見える池で、「事の善悪を見分ける」という伝説がある池だとのことであった。世界文化遺産「富士山構成資産」を訪ね、心に潤いと安らぎを感じる秋の旅であった。

ご案内

平成29年

第49回西三河支部会員展

会期 3月1日(水)~5日(日)

午前9時~午後5時
(最終日午後4時まで)

※搬入陳列 2月28日(火)
午前9時30分

※駐車場には限りがありますので、乗り合わせてお越しください。

会場 刈谷市美術館

支部会員集会

日時 3月4日(土)
午後2時

会場 刈谷市産業振興センター

日時 3月4日(土)
午後3時~4時30分

会場 刈谷市産業振興センター

講師 リフレシユトレイニング

市川好子先生

演題 「いつまでも若く、美しく、健やかに」

交流会

日時 3月4日(土)
午後5時

会場 刈谷市産業振興センター

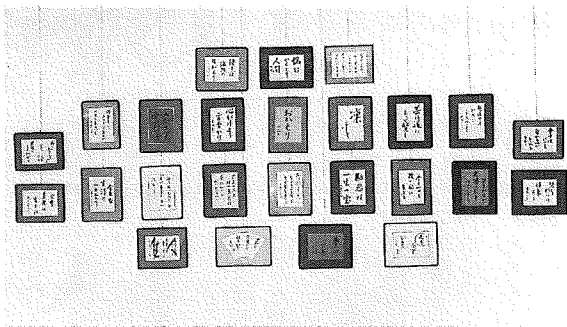
皆様のご参加をお待ちしております。



第30回遠山墨友会展
平成28年9月17日～22日

本書展も30回の記念展となり、年齢に抗して大作を発表した会員が多かった。また、遠山雪軒没後5年とも重なり遺墨展を併設、多くの方にありし日の雪軒を偲んでいただくことができたと思う。

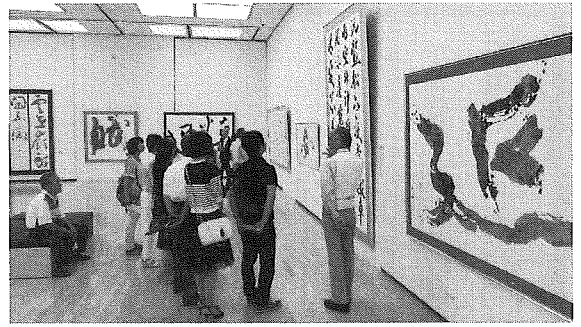
(遠山正幸)



安城文化協会創立70周年記念
第27回芳墨会書作展
平成28年9月28日～10月2日

稲垣菘圃先生の遺作、瀨墨會代表歳森翠石先生の特別出品を載しました。出品者27名が臨書・調和体各一点、半紙に「癒しの言葉」をテーマに発表、展示しました。

(神谷采邑)



第38回何有展
平成28年5月25日～29日

会場に入った人が「無何有の郷」にいるような、ホッと出来る展覧会にしたいと戸田先生は話された。今回展は特にそんな温かさが感じられ嬉しく思う。更に古典の勉強を深め、佳い作品を目指したい。

(井野吟紅)



第36回墨豊会書展
平成28年8月26日～28日

今年は、大作と小品を同じスペースにし、バラエティーに富んだ展示となりました。

残暑厳しい中、多くの方々にご来場をいただき会員一同感謝しております。(墨豊会書展実行委員会)

にしみかわスナップ

おでかけください
(広報部到着分)

平成29年

生誕100年記念戸田提山展(井野吟紅)

1月11日(水) ↓ 1月15日(日)

刈谷市美術館

1月28日(土) ↓ 2月25日(土)

安城市民ギャラリー

第14回有樺書会作品展(加藤秀慧)

1月28日(土) ↓ 1月29日(日)

碧南市文化会館

第13回童會書展(波切童州)

3月10日(金) ↓ 3月12日(日)

西尾市文化会館

第14回碧南書法篆刻講座展覧会

3月11日(土) ↓ 3月17日(金)

碧南市文化会館

光墨会楽々小品展(小嶋和晃)

4月4日(火) ↓ 4月9日(日)

岡崎市美術館

第8回桜花学生書道展(高橋秀箭)

4月14日(金) ↓ 4月16日(日)

岡崎市美術館

第39回何有展(井野吟紅)

5月24日(水) ↓ 5月28日(日)

安城市民ギャラリー

第32回かな書道清韻社会員展

6月16日(金) ↓ 6月18日(日)

栄サンシティーギャラリー

訃報

心より哀悼の意を表し、ご報告申し上げます。

平成28年

○6月18日

準会員 渡邊浩茂氏
享年56歳

○10月7日

正会員 井上径蘭氏
享年88歳

○11月3日

正会員 鈴木翠芳氏
享年83歳

後記

NHK朝ドラ「べっぴんさん」は、別嬪ではなく、別品。なのだそう。別品とは使う人の事を考え心を込めて作った特別な品との事です。来年も様々な書展が企画されています。是非おでかけいただき、貴方のお気に入りの、別品さんを見つけてください。(高場)

先日、人工知能による古典籍の翻刻研究が急速に進んでいるとの新聞記事を目にした。スマートフォンで撮影した石碑が、即翻刻されるような日も近そうだ。懐仁が二十五年もの歳月をかけた「集字聖教序」に、妙な親しみを感じる今日このごろである。(物部)